

「ノーマライゼーション」誰もが暮らしやすい、思いやりのあ る優しい伊豆の国市を目指して！

IZU ハンドスタンプアートプロジェクト×障がい福祉課

【事業目的】

- 若い世代への授業などを通じて「見た目ではわからない病気や障がい」への理解を深め、子どもたち自身も周囲を助け応援できると知ってもらうこと。● そうした教育を受けた子どもたちが大人になる頃には、ノーマライゼーションやインクルーシブ社会が当たり前となり、誰もが自分らしく過ごしやすい伊豆の国市を目指すこと。

【事業内容】

- 小中学校や高校での福祉の授業や講演会を通じて、児童・生徒に「ノーマライゼーション」や「インクルーシブ社会」への理解を深めてもらう。● 授業の一環として「手形を取る」体験やモザイクアートの制作・掲示を行い、子どもたち自身がまちづくりの一員であることを自覚するとともに、市民全体へ思いやりの輪を広げることを目指す。



【事業のようす】

8/11 又村あおい氏を招き、「誰もが自分らしく暮らせるまちへ」をテーマに講演会を実施した。R8 年度前半は、この講演会への準備活動がほとんどだった。

講演に先立ち、当プロジェクトチームの活動趣旨と、小学校で行っている福祉の授業を大人用に改良した模擬体験を実施。

これまでは、児童だけにしかできていなかった障がい者への理解とその普及活動を一般にも広められる第一歩を踏み出すことができた。

【今後の予定】

9 月から順次、市内の小学 4 年生を対象に各学校で福祉の授業を開始。偏見のない心を持っている大切な時期に福祉への理解を深め、今後の伊豆の国市について、自分たちはどんな伊豆の国市に住みたいかを考えるいいきっかけになればと考えている。

また可能であれば中学生以上への福祉の授業を開始していきたい。